

# ジャララバードに断続的降雨、高地に豪雪

## 取水堰工事白熱

事務局のみなさん、後藤・村上先生、

最大の難物と見られた新取水堰は、間もなく仮工事を終えます。このところジャララバードで断続的に雨が降り、河周りコンクリート工事に遅れが出ています。送水試験は遅延の可能性が大了。

高地の豪雪と高気温で早春の洪水が一部で予想されています。護岸工事が危ぶまれますので、1月中には送水試験を必ず実施して、護岸に全力が投入されます。

以下、進行状況です。

**固定堰と石材輸送**;洪水吐を工事中。堰全体は予定仮工事の95%以上を完了。右岸の石材輸送が難航。来週日曜日(1月22日)に左岸取水口側からの工事を引き揚げ、重機・ダンプカーの主力を護岸工事に集中する。巨礫の石材備蓄(一日輸送量約40台分3か月間、ダンプカーで約3,000台分)を、ほぼ左岸側の堰だけに使い果たしている。対岸(右岸)シェイワ側からの輸送は今後一か月継続予定。悪路のため、輸送が難航。護岸工事への影響を懸念。

**主幹水路**;全線935mで下段の籠積みを完了(1月19日)。1月21日から取水門直後の上段、沈砂池周辺の籠積みを開始予定。

**カチャラ分水路**;雨でライニング遅延、工事先端は130m中約60m。

**沈砂池**;分水門Iの下段終了、主幹送水門、排水門I・IIは下段のコンクリート打設作業中。池底のライニング(排砂路)完了(1月19日)。

**護岸工事と重機の移動**;取水堰・沈砂池・主幹水路造成のため一時停止していた。既に3週間を経過。遅くとも1月末までに護岸工事を再開しなければ、

各村の洪水対策が不確実となる。

**水路沿い植樹**;2月から上段の造成と並行して実施予定。

**灌漑ルート再調査**;ゆとりなし。カシコート調査延期。

**ベスード第一堰(カシマバード)改修**;延期

詳しくは後日報告します。

●ガンベリ排水路、訓練所建設は着実に進行、既存取水堰(カマI・II、カシマバード、ミラーン、カシコート、マルワリード、シギ、シェイワ)は正常に機能。

●1月19日、FAOのカブール事務所職員一行来訪、PMS側の事情を説明。●カブール事務所設置は、事務所の多大の努力で実現。

●ダラエヌール診療所;仇討ち殺人の職員を1月16日付で免職。

なお、

●次回の年度末報告書(JICA)は、沈砂池に詳しく触れますので、構造物の設計図をCADに少しずつ写していただくと助かります。

●DVDナレーションと手引き(写真集)の翻訳ができれば、ジャララバード側に送付してください。

以上。

斜め堰、洪水吐（舟通し）の造成。対岸砂州との接合部を広くとり、洗掘対策を万全としている。舟通しの幅約15~20m長さ40m以上 2017年1月17日



堰仮工事終局。やや下流から同部を見る。巨礫の敷設は完了間近。2017年1月17日



砂吐きと固定堰接合部は工事完了。2017年1月19日



接合部の近景。巨礫は特大（径 1.0～1.5m前後）をそろえて敷設。2017年 1月 19日



予定水位（渇水期；水門床から 60～70 cm）を達成。予定通り。2017 年 1 月 17 日



主幹水路は目標を達成。2017年1月19日



A 岩盤

河道③

用水路 100m地点。これでやっと水門からつながり、水が流れる。2017年1月19日



取水門から引かれるカチャラ村分流。雨で工事が大幅に遅れていた。2017年1月19日



カチャラ既存用水路のライニングは130mのうち60mを完了。「レベルとりの鬼」ザビウッラーは、ブディアライ村出身、驚くべき能力の持ち主で、水盛り管だけで水準器より正確に傾斜をとる。読み書きはできないが、優秀かつ質実。このような者がPMSに数多くいて、底力になっている。学歴は賢さと比例しない。2017年1月17日



カチャラ用水路

沈砂池の現在。2017年1月19日



沈砂地

